

特定非営利活動法人
日本結婚教育カウンセラー協会

平成27年度事業報告書
(平成27年4月1日から28年3月31日)

I 2015年度事業の成果報告

2013年2月12日に協会が発足し、多くの皆さまのご尽力をいただき無事に3期目の事業を終えることができました。地元奈良県を中心に地域に根差しNPOとして着実な歩みを進めることができたと思われる一年だったと思います。

当協会では、2015年度の重点目標に以下の点を掲げて活動を行ってきました。活動目標に沿っての活動内容を報告します。(目標に対し重複する活動内容はあります)

目標

- 1 結婚教育の更なる普及活動
- 2 結婚教育に関わる人材の育成
- 3 地域社会との協働、共創
- 4 カウンセラーによる相談業務の展開

1 婚育の更なる普及活動

① 結婚教育基礎講座の開催

大阪にて開催 (4月19日:クレオ大阪西 19名参加)
(5月17日:大阪天満橋ドーンセンター 22名参加)
奈良にて開催
(10月25日:大和郡山市市民交流館 29名参加)
(11月15日:同会場 23名参加)
(12月13日:奈良駅前油阪ビル 30名参加)

大阪にて開催 (1月31日:クレオ大阪西 29名参加)
(2月21日:クレオ大阪西 24名参加)
(3月13日:クレオ大阪西 30名参加)

- ② 朝日新聞、産経新聞に結婚教育普及活動の記事が掲載。
- ③ 奈良新聞、産経新聞に第2回いのちつなぐ講演会の模様を紹介。
- ④ 奈良県のソーシャルビジネスコンテストにおいて準優勝を受賞。
- ⑤ 岸和田フェスティバルのイベントのブース出展
- ⑥ 奈良市ボランティアインフォメーションセンターにて2週間パネル展出展
- ⑦ 大和郡山市でまちづくりアイデアサポート事業「豊かな結婚生活応援1日講座」を開催。

2 婚育に関わる人材の育成

- ① 結婚教育基礎講座ⅠⅡⅢへの参加で知識の強化。
- ② 婚育研究会の継続的開催がカウンセラー主体で開催できたこと。
- ③ 婚育研究会の開催（第三金曜日開催）
 - 第9回：5月14日：難波生涯学習センター 7名参加（部外者8名）
 - 第10回：7月17日：難波生涯学習センター 7名参加（部外者2名）
 - 第11回：9月18日：難波生涯学習センター 10名参加（部外者1名）
 - 第12回：11月20日：難波生涯学習センター 8名参加（部外者0名）
 - 第13回：2016年1月15日：難波生涯学習センター 9名参加（部外者0名）
 - 第14回：2016年3月18日：難波生涯学習センター 8名参加（部外者1名）
- ④ 4月よりワンコイン相談会を「夫婦・家族問題を見つめ直す相談会」に改称し、毎月1回継続的に行っていること。
- ⑤ 結婚教育研究発表大会の開催（1月23日：王寺町地域交流センター 21名）
3期生7名（婚育アドバイザー1名、婚育カウンセラー6名）の講座開講のスキルアップをめざす。
一般市民も参加しご意見をくださる。
- ⑥ 学校支援メニューフェア in 近江八幡2015で「小中学生のための結婚教育プロジェクト」のテーマで出張授業を行う。（7月23日）
- ⑦ 会員の知識強化をめざし、勉強会や懇親会の開催
「第2回行政との協働を学ぶ実践編」講師福井正樹先生（7月26日：25名）
夏の宴の開催（協会関係者以外の方も参加となり総数30名参加）
「親学から学ぶ結婚教育」講師辻由起子氏（8月23日：18名）
- ⑧ 生駒市の支援団体「生駒婚育プロジェクト」を今年度は長濱文子カウンセラーと林原カ
ウンセラーの2人体制で活動を展開。婚育100年プロジェクト®の9期各期をテーマに
講座を行う。カウンセラーの活動が市民活動において展開する第一歩となる。
- ⑨ 棚橋代表のラジオ番組「結婚教育ラジオ講座」が10月より放送開始。
- ⑩ 山手美希奈アドバイザー監修による「マンガで学ぶ！結婚教育♪」のブログが12月よ
り開始。
- ⑪ 機関紙の発行「JMCCA通信」第3号を発行。
全国に点在している有資格会員が協会における活動の認知と理解を深めることを目的。
- ⑫ 毎月第三水曜日に行うカウンセラー会議の定例化。
- ⑬ カウンセラー3期生の養成は1、2期の先輩カウンセラーで対応の準備に入れた。

3 地域社会との融合、共創

- ① 大和郡山市まちづくりアイデアサポート事業の助成を受け、「豊かな結婚生活応援1日講座」を開催。棚橋代表とアドバイザー2名が講師を務めた。
- ② 9月13日に第2回いのちつなぐ講演会を開催。「夫婦が共に生きるとは？夫が妻が認知症になったとき、あなたはどうか関わられますか？」 164名の参加（奈良県、奈良市、

大和高田市、大和郡山市、天理市、王寺町、毎日、産経、読売、朝日、奈良、奈良日々新聞社の後援をいただく)

- ③ 奈良市ボランティアインフォメーションセンターにて2週間パネル展出展
- ④ 市民人権フォーラム「すべての人に優しい社会をめざして」を開催、NHKドラマ「やさしい花」の上映とパネルディスカッションを行った。196名の参加。奈良県、奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、生駒市、NHK奈良放送局、奈良新聞社、朝日、毎日、読売、産経、ならどっとFM、エフエムハイホー、奈良NPOセンター、奈良県児童虐待防止ネットワーク「きずな」、奈良県人権教育推進協議会の後援をいただく。また31団体より広告協賛を得た。
- ⑤ 平田民子カウンセラーの尽力による南阿蘇村との協働

4 カウンセラーによる相談業務の展開

- ① 結婚教育カウンセラーの個人相談回数が 回を超える実績を積むことができた。
- ② 毎月奈良市で開催の「家族・夫婦関係を見つめ直す相談会」の申し込みも徐々に受けるようになり、徐々に認知が高まっている。

II 本年度の反省および次年度にむけての課題

- (1) HP制作の依頼していた関係機関のトラブルにより、制作完成にいたることはできなかったが、今年度には完成予定。
- (2) 協会の本拠地である関西の足元を固め、盤石な結婚教育普及にむけて2016年、晴れやかな10周年を迎える準備に向かう。
- (3) メディア対策や活動の認知を積極的に行う必要があると考える。

III 協会の運営に関する事項

- 1 2015年度 会員総数(2016年3月31日現在)
NPO会員・・・10名 正資格会員・・・21名 准資格会員・・・26名
計57名

2 運営体制

顧問 福井正樹氏 大塚智丈氏 辻由起子氏

人員体制

代表理事 棚橋 美枝子(運営責任)

副理事 佐田 俊弘(運営補佐)

理事 山田 純子(運営補佐)

理事 金親 國夫(業務補佐)

理事 安藤 美樹(事務局補佐)

監事 玉島麻理

事務局 田島 由美子